

## 天皇陛下の御退位及び皇太子殿下の御即位に伴う式典委員会（第5回）議事概要

1 日 時：令和元年5月21日（火）14：45～15：08

2 場 所：総理大臣官邸大会議室

3 出席者：

・委員長

安倍 晋三 内閣総理大臣

・副委員長

菅 義偉 内閣官房長官

・委員

西村 康稔 内閣官房副長官（衆）

野上 浩太郎 内閣官房副長官（参）

杉田 和博 内閣官房副長官（事務）

横畠 裕介 内閣法制局長官

山本 信一郎 宮内庁長官

山崎 重孝 内閣府事務次官 兼 皇位継承式典事務局長

4 議事概要

（1）安倍内閣総理大臣挨拶

○ 本日は、即位礼正殿の儀当日における祝意奉表、祝賀御列の儀の経路及び列立て、内閣総理大臣夫妻主催晩餐会における文化行事などについて議論を行うとともに、平成度における即位礼正殿の儀等の実施状況を確認し、議論を行いたい。

○ 委員各位の御協力をお願い申し上げます。

## (2) 事務局報告事項について

- 資料1「退位礼正殿の儀、剣璽等承継の儀及び即位後朝見の儀の挙行について」及び資料2「御即位に伴う慶祝行事等について」を山崎皇位継承式典事務局長から説明。
- 山本宮内庁長官から、去る4月30日の退位礼正殿の儀、5月1日の剣璽等承継の儀及び即位後朝見の儀は、非常に厳粛な雰囲気滞りなく終えることができた、これらの儀式の事務を担当した宮内庁として、御協力に深く感謝申し上げるという趣旨の発言があった。

## (3) 即位礼正殿の儀当日における祝意奉表について

- 資料3「即位礼正殿の儀当日における祝意奉表について（案）」を山崎皇位継承式典事務局長から説明。
- 西村内閣官房副長官から、5月1日の天皇陛下の御即位に当たっては、国民各界各層において祝賀の機運が大変高まったところである、即位礼正殿の儀の行われる10月22日も、国民こぞってお祝いする観点から、祝意奉表を行うべきである、このことは、先の国会において成立した天皇の即位の日及び即位礼正殿の儀の行われる日を休日とする法律の趣旨にも合致するものであるという趣旨の発言があった。
- 即位礼正殿の儀当日における祝意奉表について、案のとおりとすることが了承された。
- 菅内閣官房長官から、本日決定した即位礼正殿の儀当日における祝意奉表については、その期日が近づいたら、従前の例に従い、1か月前を目途に、閣議決定を行うという趣旨の発言があった。

## (4) 祝賀御列の儀の経路及び列立てについて

- 資料４－１「祝賀御列の儀の経路及び列立てについて」及び資料４－２「祝賀御列の儀の経路及び列立てについて（案）」を山崎皇位継承式典事務局長から説明。
  
- 山本宮内庁長官から、祝賀御列の儀の経路については、広く国民に御即位を披露し、祝福を受けるとの儀式の趣旨に照らせば、開放的で見晴らしが良く、沿道の人々から、天皇皇后両陛下のお姿を拝しやすいものとするのがふさわしい、また、列立てについては、平成度において、当時の皇太子殿下が供奉されたことを踏まえ、今回は、秋篠宮皇嗣同妃両殿下が供奉されることになるものと考えするという趣旨の発言があった。
  
- 杉田内閣官房副長官から、祝賀御列の儀においては、多数の奉祝者の安全確保、沿道の警備に万全を期すとともに、都心部の交通への影響が少しでも小さい経路とすることが望ましい、このような観点から、祝賀御列の儀の経路は、奉祝者による御列の視認性や開放性に優れ、沿道の収容能力や周辺の交通への影響についても配慮されたＣ案が適切なものであるという趣旨の発言があった。
  
- 野上内閣官房副長官から、Ｃ案は、大勢の国民が両陛下のお姿を拝しやすく、また、祝福に適した環境を確保できるものであり、儀式の趣旨に照らし、ふさわしいという趣旨の発言があった。
  
- 祝賀御列の儀の経路についてはＣ案とし、列立てについては案のとおりとすることが了承された。

#### （５）内閣総理大臣夫妻主催晩餐会における文化行事について

- 資料５－１「内閣総理大臣夫妻主催晩餐会における文化行事について」及び資料５－２「内閣総理大臣夫妻主催晩餐会における文化行事

について（案）」を山崎皇位継承式典事務局長から説明。

- 西村内閣官房副長官から、内閣総理大臣夫妻主催晩餐会における文化行事については、事務局から説明があったように、総合アドバイザーの野村萬斎さんの御助言により、日本の伝統文化を外国からの参列者に紹介し、皇位の継承を寿ぐにふさわしい内容となっている、引き続き、関係者の皆様には、入念な準備を進めていただきたいという趣旨の発言があった。
- 内閣総理大臣夫妻主催晩餐会における文化行事について、案のとおりとすることが了承された。

#### （6）平成度における即位礼正殿の儀等の実施状況について

- 資料6「平成度における即位礼正殿の儀等の実施状況について」を山崎皇位継承式典事務局長から説明。
- 山本宮内庁長官から、昨年4月に閣議決定された基本方針において、各式典の基本的な考え方や内容は平成度を踏襲するべきとされたことを踏まえ、即位礼正殿の儀について、今回も、高御座及び御帳台を正殿松の間に置き、天皇陛下には高御座からおことばをお述べいただくこと、剣璽等の捧持・奉安を行うこと、正殿の装飾や、中庭に旛や杵の配置を行い、儀式を荘重ならしめることなどがふさわしい、なお、「萬歳旛」について、平成度においては、総理に揮毫いただいたものを用いたことを踏まえ、今回も、総理に揮毫いただいたところであり、改めて御礼申し上げる、引き続き、必要な準備を進めていくという趣旨の発言があった。
- 杉田内閣官房副長官から、各儀式の次第や内閣総理大臣の所作、調度品、装飾等の考え方については、平成度の例を踏襲することを基本とするとともに、これまで式典委員会において重ねられてきた議論の

内容を適切に反映する必要があるという趣旨の発言があった。

- 横畠内閣法制局長官から、昨年4月の基本方針にもあるが、平成の御代替わりに伴い行われた式典は、現行憲法下において十分な検討が行われた上で挙行されたものであることから、今回秋に予定されている各式典についても、基本的な考え方や内容を踏襲することが適当であるという趣旨の発言があった。
- 杉田内閣官房副長官から、即位礼正殿の儀における三権の長を始めとする参列者の服装については、国民の代表としての立場や、儀式の格式を考慮し、先日の即位後朝見の儀と同様に、燕尾服、紋付羽織袴、モーニングコートなどこれらに相当するものを基本として、今後具体的に検討する必要があるという趣旨の発言があった。
- 野上内閣官房副長官から、祝賀御列の儀においては、先般行われた御即位一般参賀と同様、大勢の人々が沿道に訪れることが想定され、天皇皇后両陛下が祝福に包まれる喜ばしい機会になる、儀式に華を添えるため、平成度と同様、儀じょう、と列及び奏楽を実施してもらいたいという趣旨の発言があった。

#### (7) 次回日程等

- 菅内閣官房長官から、第6回委員会では、委員から出された意見を踏まえ、即位礼正殿の儀等の次第概要等について、議論を行うこととし、来月を目途に開催したいという趣旨の発言があった。

#### (8) 安倍内閣総理大臣発言

- 憲政史上初の御退位及び御即位が、国民の祝福の中でつつがなく行われ、新しい令和の時代が晴れやかに始まったことを、心からお慶び申し上げます。関連の儀式も厳粛に執り行われたところであり、関係者

の御尽力や御協力に、深く感謝する。

- 本日は、まず、御即位に伴い予定している慶祝行事等について報告を受けた後、10月22日の即位礼正殿の儀当日、祝意を表するため、国旗を掲揚することについて決定した。
- また、同日に行われる祝賀御列の儀の経路等について決定した。御列は、皇居を御出発し、国会議事堂正門や国立国会図書館前、青山通りを経て、赤坂御所までお進みになることとした。
- さらに、即位礼正殿の儀に際して来日する外国からの賓客を接遇するため、10月23日に行われる内閣総理大臣夫妻主催晩餐会における文化行事についても決定した。
- 文化行事においては、野村萬齋さん、市川海老蔵さん、吉田玉男さんの御出演により、狂言、歌舞伎、文楽の共演による「三番叟」を、観世清和さん・三郎太さん親子の御出演により、能の「石橋」を、それぞれ披露することにより、外国からの賓客に日本の伝統文化を御堪能いただくこととしている。
- 引き続き、即位礼正殿の儀を始めとする各式典がつつがなく、国民がこぞって寿ぐ中で整然と行われるよう、精力的に検討を進めていくので、よろしく願いしたい。

## (9) 閉会